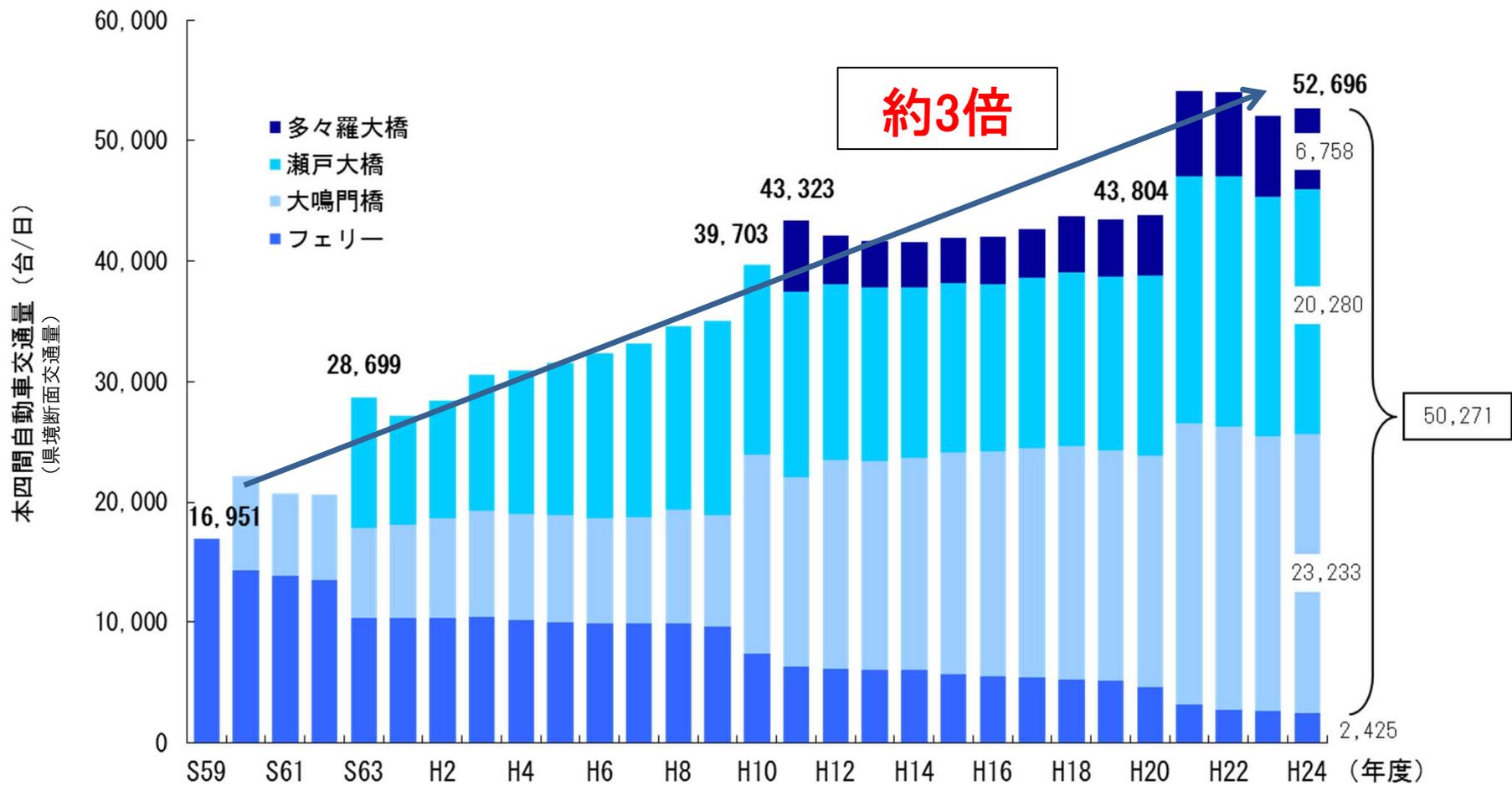


## (1) 交流促進に関する取り組み

### ① 本州四国間の交流の状況等について

# 交通量の状況（本四間自動車交通量(県境断面交通量)）

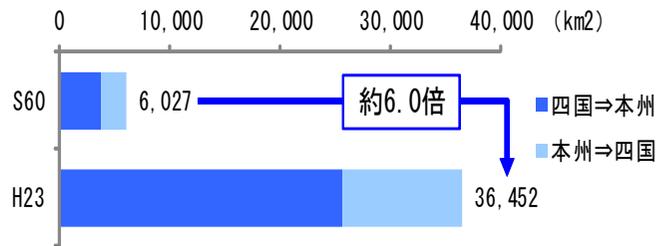
○本州四国連絡高速道路ができて、本州四国間の交通量は約3倍



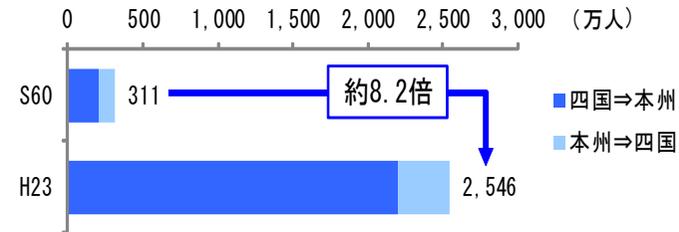
# 本州四国間の交流(交流圏)

○移動時間の短縮に伴い、瀬戸内地域の主要都市からの3時間圏域の面積は約6倍、人口は約8倍に拡大

《圏域面積》



《圏域人口》



## ◆県庁所在都市からの3時間圏域の変化

昭和60年(1985)



平成24年(2012)

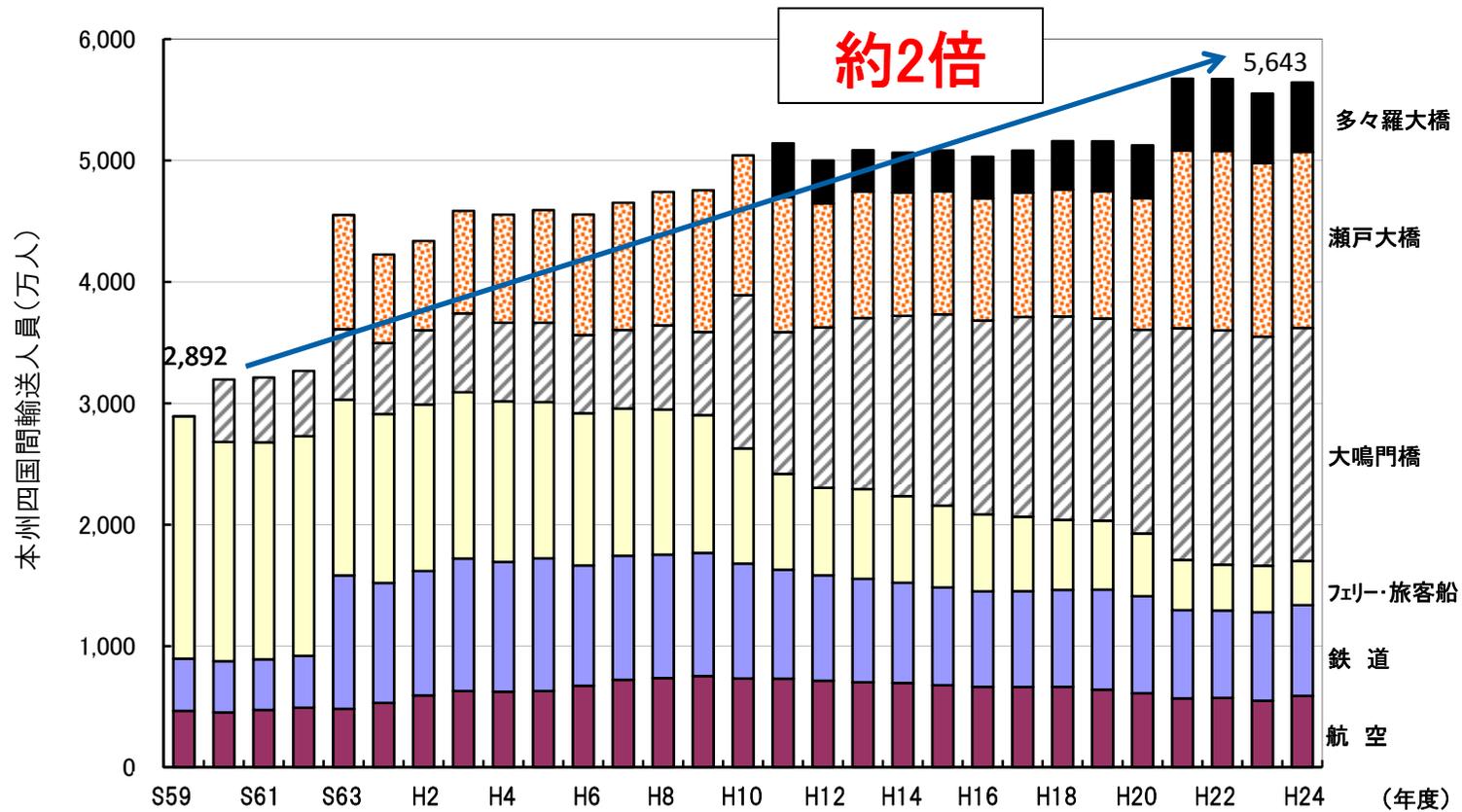


出典)「道路時刻表」、「全国フェリー、旅客船ガイド」他

# 本州四国間の交流(人の交流)

○本州四国連絡高速道路ができて、本州四国間の交流人口は、約2倍に増加

◆交通機関別の本州四国間輸送人員（推計値）の推移



出典) 四国運輸局「業務要覧」

注1: 瀬戸大橋開通(1988年4月)以前の鉄道の輸送人員は、宇高連絡船の利用客  
開通後は、JR瀬戸大橋線の輸送人員

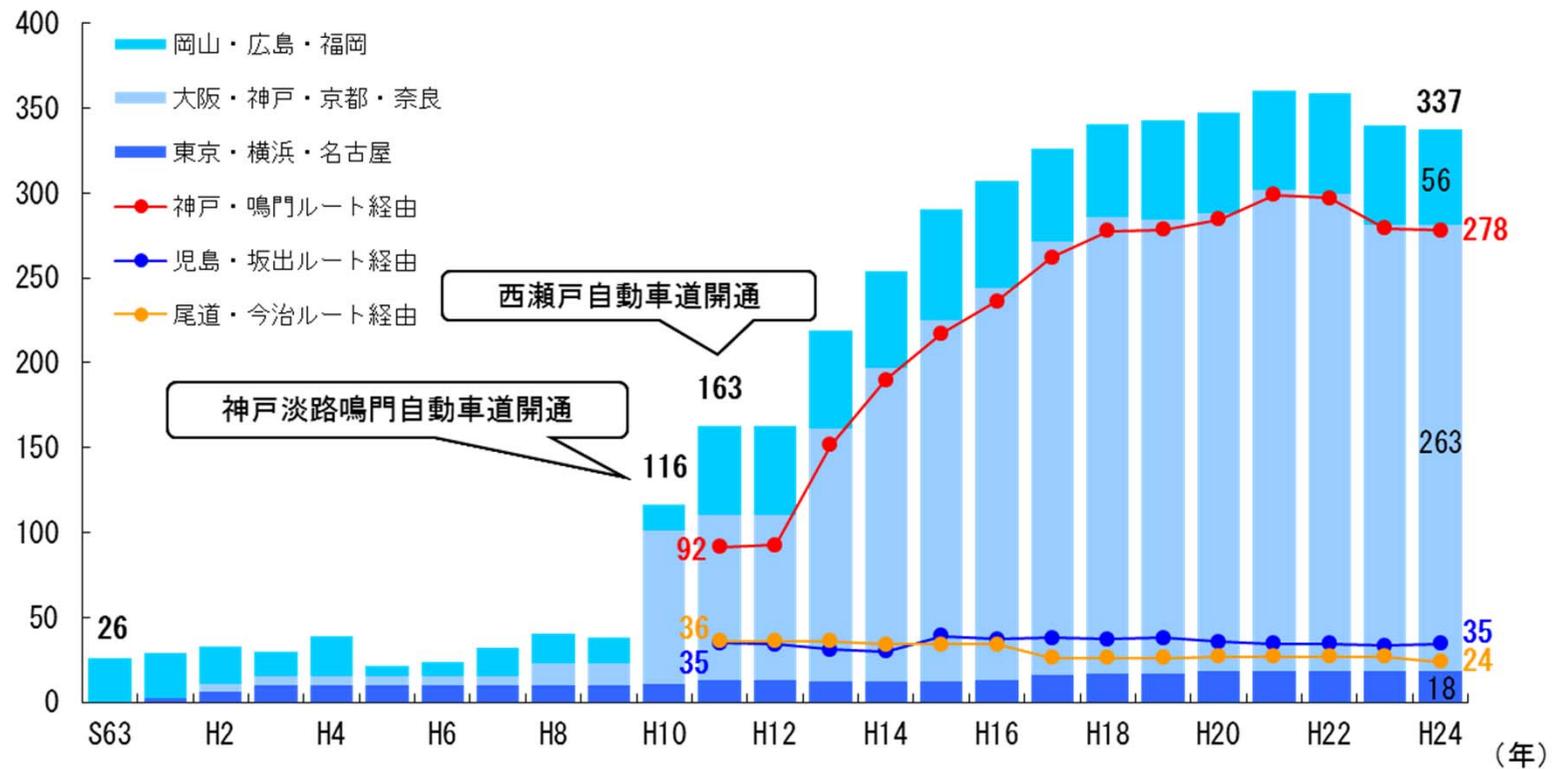
注2: 瀬戸大橋、大鳴門橋、多々羅大橋はそれぞれ県境に架かる橋

# 本州四国間の交流(人の交流)

○本州四国間を結ぶ高速バスは、京阪神と四国を結ぶ路線を中心に大幅に増加

## ◆本州四国間高速バス便数の推移

(往復便数/日)



出典)「四国運輸局要覧」(四国運輸局)ほか  
注:各年10月時点の便数

# 本州四国間の交流(通勤・通学)

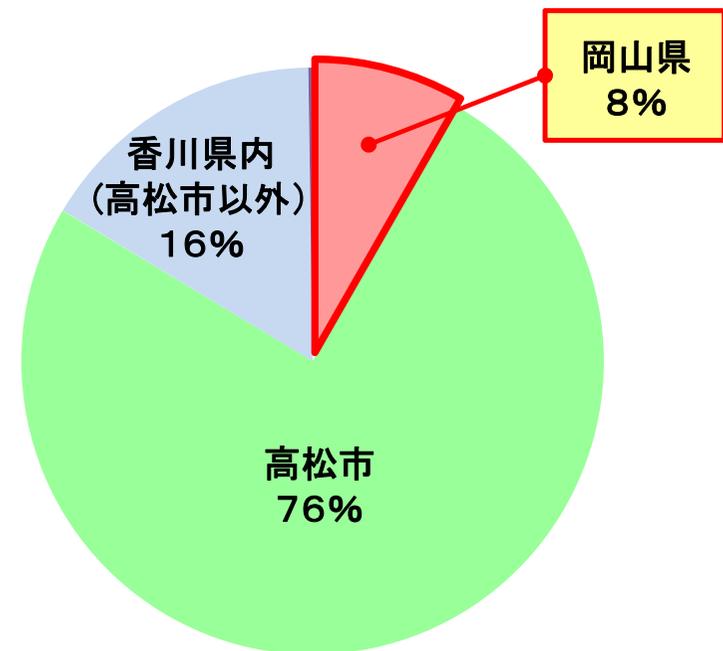
- 香川県と岡山県間は、香川県と陸続きの徳島県、愛媛県との通勤通学者数に匹敵
- 香川大学への通学は、岡山県も通学圏内

香川県の隣接県への通勤・通学者数



出典) 平成22年国勢調査

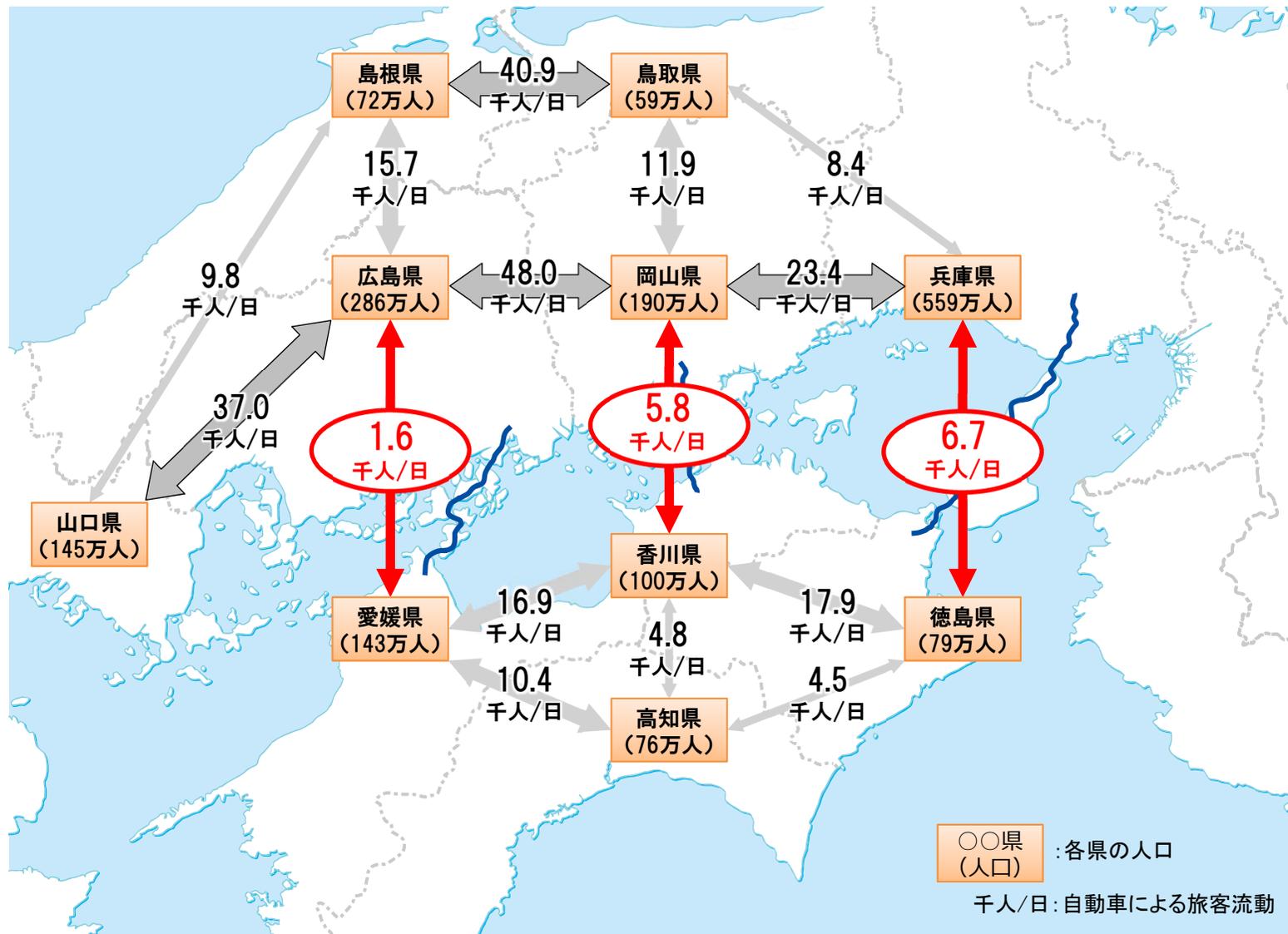
香川大学学生の通学地構成



出典) 平成23年度 (第13回) 学生生活実態調査報告書  
(Webアンケートのため、回答者のみの状況)

# 本州四国間の交流(県間流動人口)

○瀬戸内海を渡る県間流動は、陸続きの県間の流動と比較して少なく、今後のさらなる交流の拡大に期待



出典) 人口は、平成22年国勢調査結果、旅客流動は平成22年全国幹線旅客純流動調査  
 ※旅客流動: 都道府県を越える人の移動